

# 一般質問



山田 孝夫（公明党）  
熱中症について

**問** 直近3年間の救急搬送者数は。

**答** 令和2年度は30名、令和3年度は26名、令和4年度は44名です。搬送者の多くは65歳以上の高齢者で、住居内での発生となっています。

**問** 救急車内での応急処置は。

**答** 意識、血圧、体温、呼吸、脈拍、発汗、痙攣、頭痛等の熱中症の主な症状を観察し、傷病者の体温を下げるため保冷剤等を使った処置を行います。重症、高脱水状態の場合に限り、医師の指示のもと救急救命士が点滴、乳酸リンゲル液の投与を実施します。

**問** 高齢者世帯等のエアコン整備や点検を促す取り組みは。

今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

**答** 介護支援専門員連絡会議等で熱中症予防のチラシを配布し、高齢者世帯への熱中症予防の声掛けと、高齢者宅訪問時にエアコンが正常に稼動するかの確認を依頼しています。

**問** 学校体育館へのエアコン設置の考えについて、市長に伺う。

**答** 避けて通れない課題であり、学校全体の整備計画の中で、長期的な視点で調査研究していきます。

## 学校図書について

**問** 各小中学校の蔵書数と学校図書館図書標準の達成率は。

**答** 小学校が約7万1000冊で75%、中学校は3万6000冊で20%です。

**問** 学校図書館図書標準の未達成校は。

**答** 小学校が2校、中学校が4校です。

**問** 児童・生徒1人あたりの図書購入額は。

**答** 令和4年度で770円です。

**問** 学校図書費増額の考えについて、教長に伺う。

**答** 学校図書費予算の確保・拡充に向けて、読書活動の充実を重点方針に掲げ、力を入れていきたいと考えています。

**問** 学校司書を含む図書館管理を業務委託してはどうか。教長に伺う。

**答** 司書補助員による読書活動の推進等を考えており、さまざまな観点から研究を進めていきます。



湯谷百合子（無党派）  
市内中学校いじめ事業について

**問** 中学校入学後1学期からいじめを受け、担任には11月の面談時に相談したが、いじめは解消することなく中学校を卒業した。生徒は「普通の学校生活を送りたかった、中学校生活を返してほしい」と話していると新聞報道にあった。いじめ防止対策推進法では、いじめは絶対やってはいけないこと、学校は在籍する生徒がいじめを受けている時、適切かつ迅速に対処する責務があるとしている。

**答** 本件では、加害生徒は学校に登校し、被害生徒が登校できなくなっている。法がめざしていることと乖離していないか。学校と教育委員会が相談した結果、このようになりました。

**問** 被害生徒に対して、本人に寄り添った対応することになっているが、「いじめられている側にも問題がある」とかい

じめはお互いさま」といった接し方なかったか。

**答** そのようなことはなかったものと捉えています。

**問** 私が伺っている情報では違うものもある。調査委員会でしっかり調査をしていただきたい。

**答** いじめの重大事態を調査する「蓮田市いじめ問題専門委員会」の委員は、国のガイドラインによると、公平性・中立性が確保され、客観的な事実確認ができるように、弁護士、精神科医、学識経験者、心理・福祉の専門家等で、いじめ事業の関係者ではない第三者となっている。現状は元市内学校関係者4名と現職部長3名で構成されているが、これらは全員関係者であり、被害者に寄り添った調査ができないのではないかと。

**問** 現メンバーで問題ないと考えています。

**答** 被害生徒・保護者に対して調査に入る前に、調査の方針や調査組織の構成について説明することになっている。この手続きはいつ行っただか。

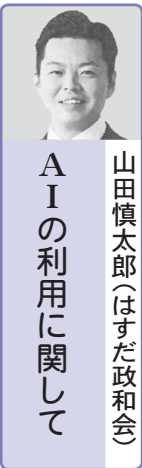
**問** 行いましたが、日時の詳細は控えさせていただきます。

**答** 今後調査は、学校や委員会の今までの対応も対象になる。今の関係者ばかりのメンバーでできるのか。

**問** 今後の第三者委員会について

**答** は、再考したいと考えています。





山田 慎太郎（はすだ政和会）

## AIの利用に関して

**問** Chat GPTの導入は。

**答** 現在、「Chat GPT」の活用を模索する動きが国や県、各地の自治体において活発化しています。自治体の活用としては、会議の挨拶文の作成や議事録の要約、新規事業の企画案作成などが挙げられます。試験導入や検討チームで実証実験を行っている自治体もあれば、使用禁止を打ち出している自治体もあります。

市では、情報収集に努めている段階であり、先進自治体の動向を見ながら、導入について研究していきたいと考えています。

**問** 今後の取り組みは。

**答** AIの利用促進は、総務省の自治体DX推進計画（令和2年12月）において重点取組事項の一つで、令和5年4月に策定した蓮田市DX推進計画にも主な取組事項として位置づけています。先進自治体の取り組みを参考にしながら、AIの活用について積極的に検討していきます。

## 蓮田市総合振興計画に関して

**問** 今後の取り組みは。

**答** 第5次総合振興計画に位置付けている主要事業が、令和9年度までに実現又は実現に近づくように、慎重かつ着実に対応し、市の将来像の実現に努めます。

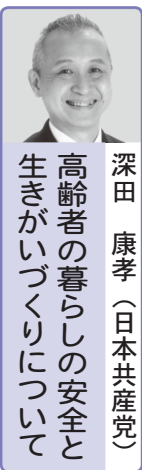
## シティセールスに関して

**問** 今後の取り組みは。

**答** 市の魅力を市外に発信する方法として、HP、ツイッター、インスタグラム、LINE、YouTube、テレビ埼玉データ放送があります。今年度はこれらに加えて、公用車の「はすびい」ラッピングを利用した活動やラジオCMの放送など、「とかいなかNO・1」の蓮田市を内容を工夫しながら情報発信していきます。「はすびい」の市外イベントへの参加を進めるべく、7月は東京スカイツリーで開催予定のグランツリーズイベント、10月は東京都北区の区民まつり及び人間総合科学大学の学園祭、11月は本庄市の「はにぼんフェスティバル」など、多くのイベントに参加して市のPRを行っていきます。



はすびいラッピングカー



福田 康孝（日本共産党）  
高齢者の暮らしの安全と  
生きがいづくりについて

## 運転免許証自主返納者への支援について

**問** シルバー・サポーター制度の協賛事業所への参加の働きかけは。

**答** 職員が直接事業所へ訪問して働きかけていくのと同時に、蓮田市商工会への周知や協賛店への参加についての協力をお願いしていきたいと考えます。

## 市内地域密着型サービス事業所で働く介護職員の苦情・相談について

**問** 賃金の未払いや遅配、有給申請をさせない等々の不当行為を受けていた介護職員の実情に対して、市と県が連携して相談業務に取り組むことを求めるがいかか。

**答** 相談者をうまく必要な部署につなげて解決に導いていくことや、相談者の負担を少しでも減らせるように丁寧に対応していければと考えています。こうした取り組みが埼玉県に掲げる介護従事者の就労支援や離職防止につながると考えています。

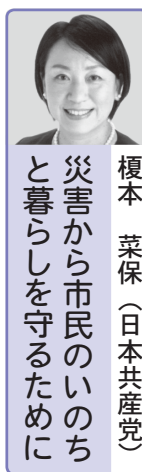
## おひとり様への支援と孤立防止

**問** 他市での取り組みの一つに「おひとり様の会」がある。おひとり様自身が、自発的に開催時の食事を作るなど活動の幅を広げている。本市でも地域におひとり様が集える場所を提供することで、高齢者の生きがいと課題発見にもつながるのではと

考えるがいかか。

**答** 戸別訪問による声掛けから隣近所のつながりを促し、更に高齢者の活躍の場になることを目指していきます。

※ほかに、乗り合いタクシー導入に向けた取り組みについて質問。



西村 新介（日本共産党）  
災害から市民のいのち  
と暮らしを守るために

**問** 県東部を中心にした6月の記録的な大雨で、住宅の多くが床上・床下浸水の被害にあった。被災時の避難支援等関係者との情報共有で、双方向でやり取りができるスマートフォンと無線の良い点を兼ね備えた「IP無線アプリ」の導入はいかか。

**答** 貴重な提案です。既存のIP無線と通信ができれば、活用できる可能性があります。その際には関係者へ周知をしていきます。

**問** より多くの市民に情報を届けるため、LINEと連携した「防災チャットボット」を導入してはいかか。

**答** \*防災チャットボット：人工知能を活用した防災用自動会話プログラム。

**問** 実際の運用状況や、国・他自治体の動向を注視し、導入可否について考えていきます。

**答** 被害が甚大な地域には、市が出張して罹災証明書を速やかに発行できる体制を整えては。

**問** 職員の配置等、その時の状況を総合的に勘案し、体制を判断していきます。



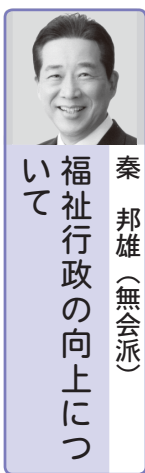
## 市民のスポーツ活動や文化的活動を応援する取り組みを

**問** 最近まで感染症拡大で、さまざまな活動が制約されてきた市民にとって、これまで以上にスポーツや文化的活動が重要な役割を果たしている。市では奨励金や補助金制度があるが、市民にあまり知られていない。周知をもっと能動的にすべきでは。

**答** 広報誌への掲載回数等は相談していきます。また市内小中学校へは年度当初に、主要な市内スポーツ・文化団体へは総会等の機会を捉えて周知を図ります。さらに、SNS等を活用し、幅広い周知方法を検討していきます。

**問** 文化的活動に対する奨励について、スポーツと同様に、青年・成人まで対象にできないか。

**答** 規則・要綱の見直しも含めて、今後研究していきます。



秦 邦雄（無会派）  
福祉行政の向上について

**問** 障がい者にとって、自分がどのような福祉サービスを受けられるのかについて市作成の福祉ガイドを見てわかりづらい。また、地域別の説明会や相談会等、障がい者が必要なサービスをより利用しやすくなるような場の設定が必要では。

**答** 福祉ガイドについては、今後、よりわかりやすいものとすべく研究するとともに、相談については委託相談支援事業者等と連携して相談機能の充実を図り、必

要な人に必要なサービスが行き渡るよう努力したいと考えます。

**問** 蓮田駅西口行政センターで扱う障がい福祉サービスの種類について、増やすべきでは。

**答** 福祉タクシー利用券等については、交付可能を検討したいと考えます。

**問** 身体障害者手帳の新規交付に要する期間は。

**答** 県が示している標準処理期間の36日以内で交付できるよう努力をしています。すが、ほとんどの場合は超えているのが現状です。

**問** 身体障害者手帳について、新規の交付数や傾向は。

**答** 令和4年度は108件です。年齢区分では、高齢者が多く7割を超えています。障がいの種類では、約7割が内部機能障害による申請となっています。

### 蓮田駅ロータリー的美観確保について

**問** 私は令和元年12月議会で、蓮田駅東口ロータリーは草がぼうぼうで管理が不適切との一般質問を行った。その後の改善策は。

**答** 草刈りの回数を増やすなど、2度の改善を図りました。

**問** 現状はそれでも不十分である。今後、同じことが起きないような方策は。

**答** 現在は6月から行っている草刈りの時期を早めるなど、適切な管理ができるよう努めていきます。



豊嶋 遥（はすだ政和会）  
DXの推進について

**問** 推進体制は。

**答** 市では、今年の4月、電算課内にDX推進担当の新設や人員を増やし、体制の強化を図っています。

また、全庁的な推進組織として、副市長を最高情報責任者（CIO）とする「蓮田市DX推進本部」を今後、設置する予定です。

職員間のDXに関する理解の共有に努め、庁内横断的に取り組んでいきます。

**問** 蓮田市DX推進本部の構成は。

**答** 本部は、責任者に副市長、副責任者に総務部長、本部長に部長級職員を想定しています。

**問** 外部専門家の活用は。

**答** 現時点では正式には決定していませんが、蓮田市で契約しているITアドバイザーを想定しています。

**問** 通信事業者との協定を結んではいかがか。

**答** 埼玉県内では、白岡市とふじみ野市がNTT東日本株式会社と協定を締結しています。蓮田市におきましても、先進市の取り組みを参考にしながら研究していきます。

**問** デジタル改革共創プラットフォームへ参加してはいかがか。

**答** 蓮田市では、令和5年2月から参加しており、DXやシステムに関する情報を適宜、収集しています。

### 蓮田市役所の来庁者駐車場について

**問** 区画のサイズは。

**答** 庁舎正面の来客駐車場は、横幅が2.3メートル、縦幅が5メートルです。西棟南側の来客駐車場は、横幅2.5メートル、縦幅が5メートルです。

**問** 区画のサイズを西棟南側駐車場のよう

に広く引き直してはいかがか。  
**答** 国の指針（普通乗用車の横幅2.5メートル）等を考慮し、可能な範囲で検討します。



蓮田市役所来庁者駐車場



関根 香織（はすだ政和会）  
川島地区の将来における都市構造

**問** 蓮田スマートIC周辺の土地利用については、市民の方や地元の方から、複合型商業施設の誘致や農工商の連携などを望む声をいただいている。私としても、市外の方に、蓮田市を目的地や経由地としてお越しいただき、多くの方に蓮田市の魅力を感じていただく、そんな土地利用を推進していただきたいと考えている。

市長が思い描く、蓮田スマートIC周辺の土地利用に関するビジョンはどうか。

**答** 蓮田スマートIC周辺の土地利用については、蓮田市にとって極めて重要な課題であると捉えていますので、今後利点を最大限に生かすべく、私たちは努力をしなければならぬと考えます。

地元の方の意向が一番大切ですので、市としては、蓮田サービスエリア上り線周辺土地利用協議会の方々を積極的に支援していきます。

**問** 都市計画マスタープランにおいて、（仮称）新SICアクセススルートの整備が示されているが、このルートの詳細はどうか。

**答** さいたま市岩槻区の馬込側を結ぶ路線と、笹山を抜けて岩槻区古ヶ場の北部工業団地を結ぶ路線であり、蓮田スマートICとさいたま市岩槻区への2方向を結ぶ路線を位置付けています。

※ほかに、新型コロナウイルス感染症対策の効果と検証として、救急・救命に係る体制、新型コロナウイルス感染症対応地

方創生臨時交付金の活用及び教育現場における感染症対策について質問。



高橋健一郎（公明党）  
自転車の安全対策について

**問** 自転車用ヘルメット購入に対する、補助金制度の導入をしてはどうか伺う。

**答** 改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者について、ヘルメットの着用が努力義務となりました。令和4年中の県内の自転車事故で亡くなった約7割の方が頭部に致命傷を負っていることや、ヘルメット非着用時の致死率は着用時に比べて2.1倍高いということが公表されています。県内では8つの市町において、自転車用ヘルメット購入者への補助金制度を導入しています。これらの事例を調査・研究していきます。

### 防犯カメラ設置について

**問** 市内の防犯カメラ設置箇所と今後の設置予定及び課題を伺う。

**答** 不審者の侵入対策や犯罪が行われた際の犯人検挙に資する目的で、市内の施設に防犯カメラを設置しています。常時監視されることによるプライバシーの問題、撮影された映像に対する情報管理や機器の維持管理、設置場所の契約、地域の景観に対する課題があります。

**問** 住宅街等に防犯カメラの設置をとの声がある。市から補助ができないか伺う。

**答** 課題も多くあると認識しており、補助金の交付制度は考えていません。



菊池 義人（市民クラブ未来）  
総合市民体育館サブアリーナ建設について

**問** サブアリーナの建設費はいくらか。

**答** 工事は基本設計時で、税込み12億4080万円です。

**問** 令和5年4月の労務単価は適用されているか。

**答** 令和4年度の基本設計時単価となっています。

**問** 市民の理解を得られていると考えているか。

**答** 2011名の署名簿とともに提出された要望書、サブアリーナ建設等検討会議での検討、基本計画の意見募集等を踏まえ、多くの方の理解は得られていると考えています。

**問** 要望書はいつ提出されたものか。

**答** 平成23年に提出されたものです。

**問** 私の周囲の方はほぼすべてがサブアリーナは今、建設すべきではないとの意見である。市長の考えは。

**答** 私の周りの人はみんな賛成です。災害対応の施設ではなくて、体育施設という役割で必要だと考えています。

### 大型商業施設の誘致について

**問** 市民からの要望は。

**答** 令和4年11月公表の市民意識調査報告書において、産業振興の項目で「今後、特に力を入れるべきだと思うもの」のうち最も高かったものが、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」で45・7%でした。

**問** 民間企業や地元と協力して積極的に誘致を行ってほしいと考えているが、市長の考えは。

**答** 市がやるものではないと思っています。まずは、今ある公共施設及び道路施設の整備などを行っていきます。もし、企業側より話があれば積極的に相談に乗らせていただきたいと思います。

※ほかに、雨水対策について、小・中学校のトイレ改修及び校舎改修について質問。



木佐木 昭男（新風会）  
高虫西部地区産業団地整備について

**問** 今後の予定は。

**答** 関東地方整備局及び関東農政局との協議を遺漏なく行わなければなりません。そのため、市は関連する法的手続きを継続して進めていきます。



## 業務代行予定者について

**問** 事業認可に向けた権利者の合意形成状況は。

**答** 法的に必要な同意率である事業区内の地権者数及び整備面積3分の2以上はもちろん、今後の事業化に向けて必要となる合意形成につきましても、すでに充足した状況であると伺っています。

**問** 今後の動きは。

**答** 市は、組合設立準備会及び業務代行予定者と協力しながら、定款案及び事業計画書案の策定を進めています。

## 埋蔵文化財の試掘状況について

**問** 正御地遺跡の進捗状況は。

**答** 正御地遺跡は住居跡25軒、溝跡が50条、土坑が41基、埋よう炉が1基確認されています。

**問** 高都原遺跡の進捗状況は。

**答** 高都原遺跡は住居跡19軒、溝跡が31条、土坑が65基、埋めがめ1基が確認されています。

## 県道行田蓮田線バイパス計画について

**問** 進捗状況は。

**答** 区域内の区間を土地区画整理事業で整備し、高虫交差点から整備区域東端までのアクセス区間は、主要地方道行田蓮田線のバイパス整備に関する覚書きに基づき、市が役割を分担して整備を進めること

が決定しています。

**問** 今後の予定は。

**答** バイパス整備に関する覚書きに基づき、県から同バイパス区間の業務を委託する予定であるため、県と連携を密にししながら、事業を計画的に進めていきます。

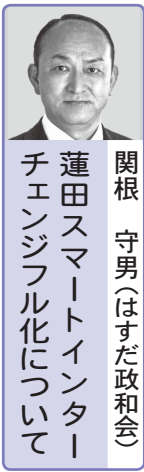
## 下水道の状況について

**問** 進捗状況について。

**答** 当該地区に近接する桶川市にある県流域下水道の処理場及び埼玉県や関係する市との協議を行っているところです。

**問** 今後の予定は。

**答** 当該地区の排水を接続することが出来るように協議を進め、この協議が整い次第、下水道法による計画と都市計画法による計画の変更を行っていきます。※ほかに、北部道路の整備計画について、生活道路の整備について質問。



**問** 下り線アクセス道路の安全対策は。

**答** 下り線のアクセス道路である県道蓮田白岡久喜線の安全対策については、スマートインターチェンジの整備に合わせて、埼玉県で幅員20メートルの歩道を延長830メートル整備する予定です。蓮田市では埼玉県から用地事務を受託し、用地取

得に向け権利者と交渉しています。関連する市道についても整備に向けて検討しています。

**問** 今後の進め方は。

**答** 地権者、国・県・ネクスコ東日本等関係機関と引き続き交渉・協議を続けます。



蓮田スマートインターチェンジ（上り線）

## 高虫西部地区産業団地整備事業について

**問** 市街化区域に編入される時期等は。

**答** 現在、都市計画の変更手続きを行っています。令和6年中に市街化区域への編入、土地区画整理組合の設立認可を取得したいと考えています。

## 水道事業について

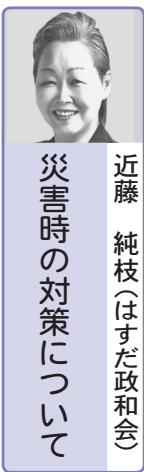
**問** 水質の検査状況について、特に有機フッ素化合物の検査状況は。

**答** 水道法で義務付けられた検査項目に加え、水質管理上留意すべき項目の検査を行っています。有機フッ素化合物の一つであるPFOS、PFOAの検査は令和2年度から行っていますが、これまでに検出されたことはありません。

## 水害について

**問** 市内では毎年水害が発生しているが、水害を防止する考えは。

**答** 水害の防止に向け、調査検討を行っています。



## 災害時の対策について

**問** 大規模地震発生時について、要支援高齢者・障がい者・市内在住の外国の方の避難計画は。

**答** 災害時避難行動要支援者避難行動支援制度に登録して個別避難計画を作成されている方は、計画に記載された避難支援者の協力を得て、避難場所等に避難していただきます。また、外国の方へは、蓮田市ホームページで9言語対応の災害時避難情報を提供しています。他に、自身が使う言葉に翻訳して情報を得ることもできる安心安全メールの周知を進めています。語学ボランティアや災害時多言語情報センターなど、さまざまな協力を得て対応して

いきます。

**問** 蓮田市の児童生徒を安全に守るために、保護者と共に子どもが携帯できる子ども防災カードを作成するのはいかがか。

**答** カード型のハザードマップを携帯することは、災害時の一つの方策と考えます。今後、他市町の活用情報等を集めて研究していきます。

### 学童保育所について

**問** 学童保育所に入れなかったという声を聞いている。待機児童数は令和5年4月1日現在55名で、各保育所に1〜31名いる。市として早急に増設する考えは。

**答** 学童保育所の受け入れ枠を増やす対策を検討しています。待機者が多い箇所について今後、早急に対応していきたいと考えています。

### 投票しやすい体制づくりについて

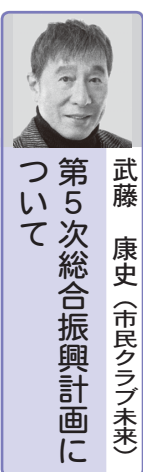
**問** 18歳から20歳未満までの有権者の投票率を上げる対策は。

**答** 令和5年8月6日執行の埼玉県知事選挙において、埼玉県選挙管理委員会の協力のもと、政治や選挙に対する関心や意識を高めるため、県内高等学校の生徒に選挙事務への参加を呼び掛ける予定です。希望がある場合は、受け入れたいと考えています。

**問** 高齢者等が投票所に行けない場合の支援は。

**答** 現在、そのような場合は、家族や身内の方の善意にお願いしている状況です。移動支援については、費用や公平性の問題等もありますが、投票機会の確保の面

からも、他自治体の事例を参考にしながら調査研究していきます。



武藤 康史（市民クラブ未来）  
第5次総合振興計画について

**問** 今後の社会環境の変化を、どのように計画に織り込んでいくのか。

**答** 計画の改定は行わず、3か年実施計画の前文等で述べることにしては来年度考えていきます。

**問** 総合振興計画とは別に、各種計画は議会との議論なく進められている。全議員協議会等で説明したらどうか。

**答** 各種計画を策定前に議会に説明することは考えていません。

**問** 3か年実施計画の事業費額と予算の概要における事業費額が異なる。現在の説明では不十分と考えるが、いかがか。

**答** 予算段階で、3か年実施計画にない新たな事業を加えることがあります。実施計画との違いの説明については、今後考えていきます。

### シティセールスについて

**問** シティセールスの総合計画を策定して、より実効ある活動を進めるべきではないか。

**答** 現在は総合計画を作成ことは考えていませんが、将来的には必要になることもあり得るかと思えます。

**問** 蓮田市キャッチコピー「とかいなかNO・1」の浸透・活用策は。

**答** キャッチコピーの浸透度は十分とはいえ、今後の活動に生かせるよう工夫していきます。

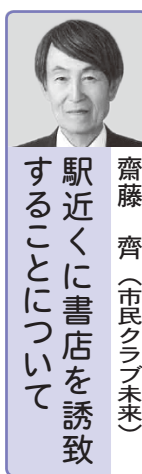
### PPP/PFI（民間資金等活用事業）について

**問** PPP/PFIについて、蓮田市に於いての導入・検討状況は。

**答** PFIの導入実績はなく、指定管理者等のPPP事例があります。

**問** 今後の市の事業において、積極的にPFIの活用を検討すべきではないか。

**答** PFIは失敗事例もあり、将来を見据えた慎重な対応が必要と考えています。今後、公共施設等で構想段階から導入を検討していくことはあり得ると考えます。



齋藤 齊（市民クラブ未来）  
駅近くに書店を誘致することについて

**問** 人が本を読む動機はいろいろであるが、その後の生き方を左右してしまうかも知れない。手に取った本との偶然の出会いの場でもある書店が、全国の街から消えつつある中、文化発信の場としての蓮田市の書店の現状は。

**答** 西新宿地区内に、一店舗だけと認識しています。

**問** 福井県敦賀市では、民間に委託する公設民営の書店を去年9月にオープンした。複合施設内にあり、年間約9000万円の委託費やテナント代を市が負担して

### 議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができま。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

#### ●車いすでの傍聴ができます

市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。

#### ●手話通訳者について

議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望される方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

#### ●議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継並びに録画映像の視聴が可能です。

いる。図書館ではなく、書店を選んだ理由について当該市の都市整備部長は「書店で本を手に取り表紙を眺めることも、すでに読書だ。市が書店を営むのは、市民への『知への投資』であり、税金を使ってもいい。」と語っている。蓮田市として、書店の必要性の認識は。

**答** 少なからずあると認識しています。

**問** 書店が無いかもしれない一店舗しかない自治体が全国で約半数ある。蓮田市も西新宿に一店のみ。車を待たない交通弱者にとっては、あまりにも遠く利用勝手が



悪い。街から消えゆく文化発信の場でもある書店を、思い切って駅近くの公共施設である蓮田駅西口行政センターや中央公民館又は勤労青少年ホーム等の一室を用意して書店を誘致する可能性は。

**答** 本を入手することが書店で購入する方法以外で可能となった現況下で、あえて市が駅近くに書店を誘致する意義や書店の駅前誘致に対する市民のコンセンサスを鑑みると、その可能性は厳しいと考えています。



鈴木貴美子（公明党）  
誰も取り残さない学びの保障  
に向けた不登校支援について

**問** 文科省の調査では、不登校者数は過去最多となっており、相談支援等を受けられていない児童・生徒も多く、不登校が長期化している。保護者への支援や、多様な学びの場の提供、一人一台端末を活用したオンラインの指導の充実を図るのはいかがか。

**答** 保護者の悩みを共有し、1人で悩みを抱え込まないよう体制を整備していきます。また、多様な学びの場があることは、不登校支援の一つとして効果的です。オンライン授業配信については、保護者や子どもへの希望に応じて対応していきます。



## 切れ目のない母子への支援について

**問** 核家族化が進み地域とのつながりも希薄になる中、孤立感や不安感を抱える妊婦や子育て家庭も少なくない。切れ目のない支援を行っていくことは大変重要ではないか。

**答** 小さく生まれたお子さんとご家族のための応援手帳として、「リトルベビーハンドブック（蓮田市版）」の作成を前向きに検討していきます。また、不妊、不育症の検査費助成金について、増額を検討しています。

## 保育士の確保・定着について

**問** 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、待機児童とともに、保育士不足が問題となっている。保育士への家賃補助（保育士宿舍借り上げ支援事業）を実施し、保育士の確保・定着を行うのはいかがか。

**答** 他自治体の効果を踏まえ、また民間保育園等からの意向をもとに、積極的に検討していきます。

※ほかに、災害時における非常用電源について質問。



諸根 善昭（日本共産党）  
学校給食の無償化と質の確保について

**問** 児童・生徒の教育費負担の現状は。

**答** 学校に納める金額は、年間の平均で小学校6年生が年額9万5744円

（うち給食費が4万6200円）、中学校3年生が年額10万9861円（給食費5万3680円）です。

**問** 給食費の無償化は保護者の負担を大きく軽減すると思われるがどうか。

**答** 教育費の重要な部分を占めていると認識していますが、無償化には財源が必要で。

**問** 食料費の高騰が給食に与える影響は。

**答** いまの給食費では賄うことが厳しい状況にあり、教育委員会として対応を検討しています。

**問** 9月の新学期から来年3月までに必要な補てん額はいくらか。

**答** 約2000万円です。

**問** 子どもの健康のために速やかな実現を図るべきと考えるがいかがか。

**答** 早い段階での実現を検討します。

## 緑町商店会の街路灯対策

**問** 緑町商店会の街路灯について、市の解決策は。

**答** 市が新たにLEDの街路灯を設置し、その後、緑町商店会の街路灯については、商店会の責任で撤去していただくことを提案しています。



## 6月定例会傍聴状況

月 日	会 議	人数
6 / 13	本会議（開 会）	2
6 / 19	本会議（議案質疑）	0
6 / 20	委員会（総 務）	1
6 / 21	委員会（民生文教）	1
6 / 22	委員会（建設経済）	1
6 / 26	本会議（一般質問）	31
6 / 27	本会議（一般質問）	4
6 / 28	本会議（一般質問）	21
7 / 4	本会議（閉 会）	3
合 計		64人

9月定例会は  
8月30日(水)  
開会の予定です

## お詫びと訂正

前号（第125号）の近藤純枝議員の一般質問「高虫西部地区産業団地について」の答弁の中（P10 1段目30行目）で、漢字の表記誤りがありました。（誤）誘地 ↓（正）誘致  
お詫びして訂正いたします。